

進路だより



第3号 令和7年7月18日発行
静岡県立浜松みをつくし特別支援学校
進路指導課

今回は、高等部の『職場実習』についてお知らせします。

1学期は、3年生と2年生が職場実習を行いました。実習の様子について紹介します。お子さんの将来の姿を思い描く際の参考にしてください。

職場実習とは

一定期間、企業や福祉施設で実際に仕事や日中活動を行う学習です。

生徒にとって、普段とは違う場所で、教員ではない事業所の方と仕事や日中活動に取り組むということは、時には緊張や戸惑いを覚えるものです。実習を行うことで、大きな自信や成就感を得る一方で、卒業後の生活に向けた課題も見えてきます。課題はその後の学習に役立ち、更なる成長の糧となります。今回実習を行った3年生が実習で学んだことや大切だと御指導いただいたことを紹介します。

職場実習で学んだこと

～働くために必要な力 作業面～

- ・忙しい中でも落ち着いて物を丁寧に扱う。
- ・間違えたときや異常を発見したときはすぐに報告する。
- ・分からないときは遠慮しないですぐに報告する。
- ・周りを気にせず自分の作業に集中して取り組む。
- ・目標数を意識することで、生産数を上げる。
- ・作業スピードや最後まで働くために、体力をつける。
- ・不良品を出さないように自分で確認してから報告する。

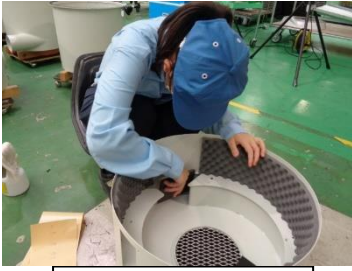


～働くために必要な力 生活面～

- ・自分から作業場に移動する。
- ・普段から多くの人と関わることで、コミュニケーション能力を高める。
- ・誰とでも正しい言葉遣いや態度で接する。
- ・自分から挨拶、報告をする。
- ・嫌だと感じる仕事でも、自分の気持ちに折り合いをつけて、ポジティブな言葉を使って作業に取り組む。
- ・安定した生活リズムが、毎日休まず通えることにつながる。
- ・落ち着いて活動できる時間を増やす。



実習をとおして、出てきた課題は一朝一夕に解決できることではありません。**日々の積み重ねが大事になってきます。**学校での学習を積み重ねていくことはもちろんですが、家庭で基本的な生活習慣を身に付けたり、役割を継続して行うことができる力を身に付けることも大切です。高等部に入学してから始めるのではなく、**小学部や中学部のときから力を積み重ねることで、働く人になる力を付けることができます。**



部品の取り付け



製品の仕分け



瓶の品質検査

本校2階の渡り廊下に職場実習報告書が掲示してあります。報告書には、実習先・仕事内容・目標・実習を終えての成果(頑張ったこと)、課題が書かれています。ぜひ、御覧ください。

PTA進路講演会の様子

7月9日(水)にPTA第1回進路講演会が開催されました。卒業生の保護者から『卒業後の生活について』の講演があり、その後『進路について聞きたいこと等』をテーマにした座談会が行われました。卒業生の保護者からの講演内容を御覧ください。

- ・学校を卒業すると運動をする機会が減っていく。
- ・見学は高等部になってからではなく、早めに行った方がよいこと。
- ・見学や実習では活動内容や事業所での行事の有無、家からの距離や雰囲気を見ること。
- ・進路決定では本人の楽しいという気持ちだけでなく、活動や雰囲気が合っているか、無理なく通うことができるか等、本人の思いを考えながら親の思いも合わせて考えていくことも大切。
- ・保護者同士の情報共有の大切さ。
- ・年金など手続きや動き出しは早めに行うこと。
- ・家庭での本人の役割や自分のことは自分で行える力をつけていくこと。
- ・学校で行っていた支援方法が有効になってくること。
- ・学校と施設は違うことの理解や施設の方を信頼した支援の依頼の仕方が大切。

進路について、重要なことを学ぶ場になりました。



講演の様子



座談会の様子



進路情報

～新たに開所する事業所の情報をお伝えします～

ワークショップメルシー	令和7年8月1日 開所	B型事業所(本沢合)
みんなの家 もくれん	令和8年1月1日 開所	B型事業所&生活介護(三方原町)
第2くるみ作業所	令和8年4月1日 移転予定	B型事業所&生活介護(和合→三幸町)

～夏休みの事業所説明会、体験会の案内～ (申し込みは各自でお願いします。)

ウェルビー浜北(7/30)、クルミックス(8/21)、浜松学園オープンキャンパス(8/11)

※ その他の事業所も見学を受け付けています。夏休みを機会にぜひ見学をしてみてください。